

美濃加茂市未来のまちづくり委員会（第2回）議事録

1. 日時：平成 30 年 9 月 7 日（金） 午後 7 時 00 分～9 時 00 分
2. 場所：美濃加茂市生涯学習センター 203 号室
3. 出席者（順不同）：
 - (1) 委員：
海道会長、生田委員、原田委員、高井委員、鈴木委員、宮口委員、渡邊副会長、長谷川委員（9 名中 8 名出席）
 - (2) 業務委託先：
株式会社地域計画建築研究所 2 名（立地適正化計画）
玉野総合コンサルタント株式会社 2 名（新庁舎整備基本計画）
 - (3) 市：
経営企画部長、経営企画部対策監、施設経営課長、その他施設経営課 5 名
建設水道部長、建設水道部対策監、都市計画課長、その他都市計画課 2 名
4. 委員会の対象議論：
 - (1) まちづくり基本方針・・・資料 2-1-①、2-1-②、2-1-③
＜資料 2-1 ①＞
資料に基づき市の現状・将来分析人口・世帯推移、年齢階層別、地区別人口、将来人口推計、人口分布予測、DID 地区変遷、全体と高齢者 100mメッシュ人口分布予測、公共交通（鉄道・あい愛バス）の状況、商業・医療等の生活利便施設の状況、県内 13 都市との都市構造評価比較チャートを説明した。
 - ・【質疑】：地区別の人口推移と将来予測について増減の要因は何か。
 - 【事務局回答】：人口推移の増減はリーマンショック後の景気悪化とその後の回復の要因があると思われる。
 - ・【質疑】：公共交通の状況について鉄道利用者数推移、あい愛バス利用状況で乗降客数のカウント方法は。
 - 【事務局回答】：長良川鉄道は第 3 セクター方式で沿線自治体の補助で運営されている。鉄道利用者数は、景気の動向の影響があると推測される。また、あい愛バスの乗降客数は、乗車で 1 カウント、降車で 1 カウントとしている。
 - ・【質疑】都市構造評価のレーダーチャートの指標に関して、人口カバー率、平均人口密度、福祉施設の定義とは。
 - 【事務局回答】：チャート指標の徒歩圏人口カバー率等について説明した。徒歩圏人口カバー率は、徒歩圏内に居住する人口の総人口に占める比率である。福祉施設の定義は、国土交通省発行の都市構造評価に関するハンドブックで定義されており、通所系施設、訪問系施設及び小規模多機能施設である。
＜資料 2-1 ②・③＞
資料に基づき市の持続可能な都市（まち）づくりの考え方（案）及び考え方に基づく都市構造の検討事項を説明した。

・【質疑】メディカルシティ構想の事業計画は何か。

【事務局回答】：事業概要（広域医療機能拠点、保健機能拠点）について説明した。

・【質疑】都市構造の用途地域指定の考え方は。

【事務局回答】：用途地域の拡大指定について、メディカルシティ構想区域の用途地域指定を検討中であるが、都市計画法上の手続には関係機関との協議、住民説明等の手続が必要であることを説明した。

・【質疑】木曽川浸水想定区域も検討事項だが大地震による液状化想定区域は。

【事務局回答】：都市機能誘導区域の候補エリア内には液状化想定区域が含まれないことを説明した。

・【質疑】新庁舎整備地と都市機能誘導区域に関係性について、誘導区域内に新庁舎を整備しない場合に課題となる点は何か。

【事務局回答】：都市機能誘導区域における事業には国庫補助率が嵩上げとなることや採択条件が有利になることを説明した。新庁舎整備事業費に対する直接的な補助はないが、新庁舎周辺の道路、公園、生活利便施設整備事業に対する補助が見込めることを説明した。

・都市機能誘導区域に関する中心拠点区域やサブ拠点区域の基本方針に関しては、今回の委員会は基本目標や都市構造の考え方のたたき台を提案した。第3回委員会で誘導区域や誘導すべき施設に関して議論を深める予定となった。

（２）新庁舎整備基本計画について・・・資料２－２

今回の審議のポイント・・・『事務局が基本構想で提案されたまちづくりのポイントと候補地に求めるポイントをまとめた候補地評価表について審議していただく。』

なお、候補地①は現庁舎周辺、②は美濃太田駅周辺、③は美濃太田駅北側スーパー周辺、④は前平公園周辺を指す。

・【質疑】基本構想概要版の、「まちづくりのポイント」のポイント3「美濃加茂の歴史や伝統を守り、次の世代へ引き継ぎます」とは、市役所内部のことかそれとも周辺のことか

【事務局回答】：周辺の事である

<委員からの提案>

・候補地ごとの歴史や伝統については、基本構想で議論されていない。歴史や伝統に関して、本委員会ですら新しい視点で議論してもよいと思う。

・「誰もが立ち寄りやすい場所（交通アクセス）」という指標に関連するが、あい愛バスは、本数がまだまだ少なく、利用したくても時間が合わない場合が多いと感じる。

・資料2-2について、6つの指標は、グループ分けした方がよい。例えば上から(1)～(6)番号を付けるとすると、(1)(2)(4)は利便性の話であるし、(6)は防災・安全の話である。

・上記意見に関して、私も6つの指標はグループ分けしたらよいと思う。利便性、環境、事業の実現性などと分けることができるのではないか。

【事務局回答】：資料2-2のp.2の指標については、グループ分けをする。

5. 今後の予定

次回開催日時は、平成30年11月2日 午後7時00分～9時00分とした。

以上